

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 発展世界史

教科：地理歴史 科目：発展世界史 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 ACDE 組

教科担当者：磯崎理沙

使用教科書：（詳説世界史探究 山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 発展世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	①ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 ③中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。 ④16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
ルネサンス	①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。	【知識・技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新鮮さと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとして	○	○	○	3
宗教改革	①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ②カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。 ③カトリック改革が持つ世界的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 【思考・判断・表現】 「九十五条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとして	○	○	○	3
主権国家体制の成立	①主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ②16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。	【知識・技能】 主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
オランダ・イギリス・フランスの台頭	①17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 ③近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 覇権争いの経過や「権力の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5

1 学期

	④イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。	ついて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
定期考査			○	○		1
産業革命	①海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ②イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。	【知識・技能】 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
フランス革命とナポレオンの支配	①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 【思考・判断・表現】 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動	①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ④イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解する。	【知識・技能】 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

第2次産業革命と帝国主義	①新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 ②帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。	【知識・技能】 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角	○	○	○	4
列強の世界分割と列強体制の二分化	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解する。	【知識・技能】 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	4
アジア諸国の変革と民族運動	①日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。 ③インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。	○	○	○	4
第一次世界大戦とロシア革命	①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ④第一次世界大戦がもたらした影	【知識・技能】 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像	○	○	○	5
ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	①第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ②西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。 ③国際協力をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。	【知識・技能】 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表	○	○	○	4
アジア・アフリカ地域の民族運動	①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。	【知識・技能】 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 【思考・判断・表現】 民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現して	○	○	○	3
2 学 期 定期考査			○	○		1
世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解す	【知識・技能】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 【思考・判断・表現】 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各	○	○	○	4
第二次世界大戦	①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現	【知識・技能】 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
新しい国際秩序の形成	①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ③国民党が共産党に敗れた原因を多面的・多角的に考察し表現す	【知識・技能】 第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面	○	○	○	4
冷戦の展開	①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ④スターリン死後のソ連と東欧に	【知識・技能】 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面	○	○	○	4
第三世界の台頭とキューバ危機	①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 ③キューバ革命の背景および影響	【知識・技能】 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロ	○	○	○	4

定期考査	を多面的・多角的に考査し表現す	による第2次ハバナ宣言」などの資料をもと	○	○		1
------	-----------------	----------------------	---	---	--	---

冷戦体制の動揺	<p>①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。</p> <p>②1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>1960年代の各地の様子を写した画像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などを参照して考察し表現している。</p>	○	○	○	10
冷戦の終結	<p>①1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。</p> <p>②ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	○	○	○	10
						合計
						105